

♡ ことばの力 ♡ からだの力 ♡ こころの力

園長室だより



城南学園幼稚園 園長 太田友子 令和2年11月30日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園



実りの秋を満喫！ - 食欲の秋、芸術の秋 -

実りの秋真っ最中です。



さて、園の西側(たんぼぼ組前)にある柿の木には、今年も見事にたわわに実らせてくれました。年長児さんになると柿採りを行い、1つずつ持って帰ります。

「年長さんだけ」がキーワードのようで、「帰ったらすぐに食べる！」とか「せっかく持って帰るからお兄ちゃんにあげよ！」と口々に、大事そうに鞆に入れていました。

また、11月22日(日)の作品展にお越しいただきましてありがとうございました。

廃材を活用してクラスや学年ごとのテーマに沿って、作品製作に取り組みました。教室全体の飾りつけまでに少しずつ変化していくプロセスも楽しみ、当日お家の方に見ていただくことへの期待感を募らせてきました。

「お家の人が見たら何て言うかな？」と声をかけると、年少児さんも目を輝かせながら「すごい！」「うわあ！」かなあという声がありました。相手の気持ちを理解するにはまだ時間がかかりますが、少しずつお家の方の反応から気持ちを理解していきます。



どうか豊かな表現力を発揮していただいて、子どもたちの期待に応えてあげてくださいね。

保護者会主催『みんなでつくろう』コーナー

- コロナに負けずに次年度へ継ぎます！ -



保護者会主催の『みんなでつくろう』は、夏祭りが中止になったため、作品展時に開催して下さいました。コロナにも負けないで、今年も開催できましたこと、大変意味のあることだと思います。この作品は1月の絵画展時にご披露いたします。コロナ感染症が拡大される中ですが、皆さんとともに乗り越えてまいりましょう。

保護者会役員の方の皆さま、ありがとうございました。

『おはなし音楽隊』がやって来ます！

「オズの魔法使い」



大きなクリスマスプレゼントが届きます。

この度、文化庁の芸術振興予算(補助金)を活用して、幼稚園児対象のお話とクラシック音楽を融合させた「おはなし音楽会」へ、本園が招待されることになりました。コロナ感染症拡大のため、様々な活動が中止されたり縮小化されたりする中、少しでも子どもたちに芸術活動により夢や喜びを届けようというねらいです。

主催者「エデュセンス おはなし音楽隊」の奥村みずほさんは、園長の大学院時代の学友です。このご縁からお声をかけていただき、実現の運びとなりました。

『オズの魔法使い』は、オペラ歌手、チェロ、ピアノ、パーカッション、そしておはなしなどで構成されており、幼稚園の予算では到底実現できないほどの豪華な内容になっています。また、幸いなことに、本学園には本格的な『坂上記念ホール』も備わっており、実現条件が整いました。



当日12月8日(火)には、感染症拡大防止のため、年長児のみの鑑賞としますが、その動画のURLを全園児に配布しますのでお家でお楽しみください。

年長児の「お泊り保育」について

毎年、実施している年長児対象のお泊り保育ですが、今年度はコロナ感染症拡大防止のため、宿泊活動は断念せざるをえませんでした。そこで、少しでも年長児の思い出づくりにと、12月4日(金)、学園保有の『河内長野セミナーハウス』にて園外保育を実施することにしました。



大きなグラウンドで凧揚げなど、日常と違う経験ができればと考えています。

そんな中、ある保護者の方から、「園外保育のお手紙を読んで、本当にありがたいなあと他の方々とお話しています。」とお教えてくださいました。

これまで検討を重ねてようやく実現の運びとなったのですが、このような有難いお声を聞かせていただき、保護者の皆さまからどれほど深いご理解をお寄せいただいているかと、改めて感謝申し上げます。大きな励みとなっております。ありがとうございます。